

トレンドの種

2025年5月

1. エネルギー業界

- ・水道基本料の無償化が検討されるなど、夏の時期嬉しい話題も
- ・風力発電の風車ブレードが落下したことによる死亡事故が報じられた

都が夏の時期の水道基本料金無償化を検討している、と毎日新聞が報じている。

6月は風力発電の風車ブレードが落下するというショッキングなニュースも。

1. 先月から継続しているトピック

- ・水力発電
- ・メガソーラー
- ・ペロブスカイト太陽電池

2. 今月の注目ワード

- ・風車ブレード落下事故
- ・バイオ燃料を混ぜたガソリン
- ・水道基本料無償化検討
- ・東電、電柱にカメラ設置
- ・福島第一原発の使用済み核燃料取り出し
- ・政府、今夏の節電要請見送り
- ・中国製太陽光発電に不審な通信機器... 他

2. 航空・海運・運輸・輸送

- ・インバウンドの活況により航空・鉄道が好調
- ・年賀状を含む郵便需要の低迷が顕著

訪日客の増加の影響で航空や鉄道、空港の利用者数が大幅に増えており、好調な決算状況が報じられている。

年賀状が前年比3割減となるなど、郵便物は23年連続減少。新たに導入するデジタルアドレスによる効率化で歯止めとなるか。

1. 先月から継続しているトピック

- ・地方空港利用客が拡大
- ・日本版ライドシェアの現状
- ・新幹線の荷物輸送が活況

2. 今月の注目ワード

- ・航空・鉄道各社、訪日客外国人増で決算好調
- ・年賀状、前年度比で過去最大の約3割減少
- ・JR西、駅ホームの可動式スロープを試験導入
- ・セブン、自動配送の実証実験開始
- ・東京メトロ、英ロンドン地下鉄に参画
- ・日本郵便、デジタルアドレス導入
- ・持続可能な航空燃料に家庭用の油を活用

他

3. 小売り・流通

- ・セブンの様々な面で批判的な報道が顕著
- ・コンビニなどで紅茶商品の拡大が進む

セブンに対する風当たりが厳しい状況が続いており、増量キャンペーンが他社と比べ、厳しい評価が噴出。

セブンの淹れたて紅茶導入に続き、ファミマではアフタヌーンティーとのコラボ商品が実現。今は紅茶がキテル！？

1. 先月から継続しているトピック

- ・セブン、カナダ企業と交渉継続
- ・紅茶商品の人気拡大
- ・百貨店主要4社、免税売上高鈍化

2. 今月の注目ワード

- ・セブン、インバウンド向け販売戦略展開
- ・3COINSがおにぎり販売を開始
- ・セブンの増量キャンペーンが低評価
- ・ファミマ、売り場改革を進める
- ・ロピア、わずか1年で沖縄から撤退
- ・備蓄米申し込みに大手スーパー・小売りが殺到
- 他

4. 自動車・バイク

- ・米駆け込み需要により自動車販売は好調
- ・日産が大規模な人員削減計画を発表

トランプ関税への懸念から4月の米国自動車販売は好調に推移。今後は反動減や関税強化など、トランプ政権の動向が不安材料に。

経営悪化により、日産自動車は全世界で2万人の人員削減を発表。工場のある地元自治体などからは不安の声があがっている。

1. 先月から継続しているトピック

- ・トヨタとウェイモが協業
- ・テスラ販売低迷続く

2. 今月の注目ワード

- ・トヨタ、決算発表：26年3月期は米関税の影響で減益見通し
- ・日系各社の4月の米新車販売好調
- ・中国新車市場でBYDが首位に
- ・三菱自動車と鴻海がEV事業で協業発表
- ・日産が大規模人員削減方針
- ・ホンダ、EV投資計画を見直し
- ・EUの排ガス規制が緩和
- 他

5. 不動産・物品賃貸業／エリア開発・建設

- ・首都圏マンション価格高騰中
- ・億ション、タワマンの地もとへの影響は？
- ・中古マンション・リノベ物件のリスクとは
- ・不動産価格高騰のカラクリ

住宅価格の高騰が続き、「億ション」住人像への興味や、タワマン建設が与える下町への影響、マンションの売り時指南など周辺話題が増えてきた。その延長線か、マイホーム神話の崩壊で賃貸物件の新しい形が注目されはじめた。

1. 先月から継続しているトピック

- ・日本中で不動産価格が爆上がりしている
- ・タワマン人気続く
- ・不動産事業の最新動向

2. 今月の注目ワード

- ・イマドキの町内会
- ・理想の「おひとりさま物件」
- ・「コスパ最強」下町3区、「ブランド力がある」と思う市区町村
- ・億ションに住んでる人ってどんな人？
- ・タワマン再開発で、庶民の街に大きな変化
- ・「廃虚アウトレット」乱立の”なぜ？”
- 他

6. 行楽・レジャー・宿泊

- ・インバウンド話題はポジ・ネガ両論続く
- ・関西万博、開幕で明るい/イシューの両論
- ・今年のGWは日並び悪く旅行減速

オーバーツーリズムといったイシュー系の話題も継続中。今月は新幹線指定席のトラブル事例なども。

万博やヌン活なども話題の広がりで報道が継続。

国内外の独自サービスや施策、注目観光地や周辺ランキングも堅調。

1. 先月から継続しているトピック

- ・オーバーツーリズム
- ・関西・大阪万博の反響
- ・GWの旅行概況

2. 今月の注目ワード

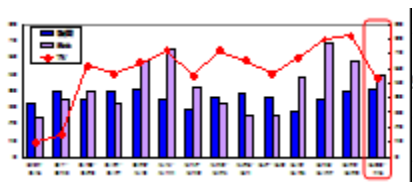
- ・日本人は休みベタ？
- ・「疲れない大人旅」
- ・有給の賢い取り方
- ・迷惑な“旅ハック”
- ・万博効果でフェリーさんふらわあ好調
- ・ももクロ・ライブの経済効果
- ・空気がおいしい「都道府県」ランキング
- ・新たな行動「マウント消費」とは
- ・勝ち組のゴールデンウィークとは？？？
- ・「新幹線隣席ガチャ」
- 他

データムは

新聞・TV・雑誌・Webの報道を集め、
整理、分析いたします。

■新聞・Web・TV報道の検索と収集

ひと目で分かる報道件数の推移



キーワード毎の件数比較

キーワード	2021年	2022年	合計
脱炭素	6,130	9,062	42,647
SDGs	6,184	8,734	40,097
再生エネルギー	4,010	4,637	23,897

過去10年のWebニュースも検索可能！

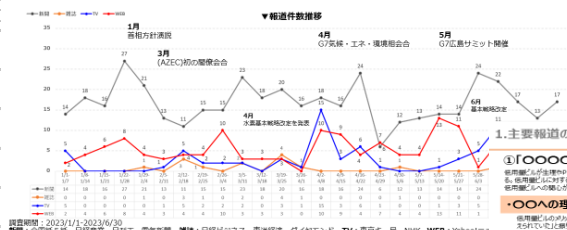
■報道と情報を整理し、分析します

報道の量的・質的分析
レポート形式でご提出

報道件数推移

新聞報道では新ビジネスに取り組む企業事例が連続して取り上げられており、1月と6月で報道量の大きな差はみられない。政府の動向に関心が集まっており、首相選考やG7サミット、基本戦略改定などのタイミングで報道が増加している。エネルギー政策に言及する報道が目立つ。

TV報道では「水素基本戦略改定」話題が複数回に取り上げられており、報道量を押上げていく。



1. 主要報道の整理・考察

①「○○○○○」話題まとめ

「脱炭素」が各メディアのトップページに目立つようになり、政府の政策発表や企業動向に連動して報道が増加している。特に、政府の脱炭素ロードマップ発表後、各メディアが相次いで報道を行った。また、企業動向についても、脱炭素関連の企業は積極的に報道されている。

・○○への理解が広まってきた過去と現在を比較するコメント・発言が増加

脱炭素の理解が広まってきたことにより、過去と現在を比較するコメントや発言が増加している。特に、政府の政策発表や企業動向に連動して報道が増加している。また、企業動向についても、脱炭素関連の企業は積極的に報道されている。

「脱炭素」が各メディアのトップページに目立つようになり、政府の政策発表や企業動向に連動して報道が増加している。特に、政府の脱炭素ロードマップ発表後、各メディアが相次いで報道を行った。また、企業動向についても、脱炭素関連の企業は積極的に報道されている。

②「アスリート○○○○○○○○○」対策としての○○話題まとめ

アスリートに関する報道が増加している。特に、アスリートの健康問題やパフォーマンス向上に関する報道が増加している。また、アスリートの生活習慣やトレーニング方法に関する報道も増加している。

1. ○○がアスリートに不利になるのでは、という懸念があったと指摘

「アスリート」が各メディアのトップページに目立つようになり、政府の政策発表や企業動向に連動して報道が増加している。特に、政府の政策発表や企業動向に連動して報道が増加している。また、企業動向についても、脱炭素関連の企業は積極的に報道されている。

2. アスリートが積極的に情報発信、男性側の理解も広がっている

アスリートが積極的に情報発信している。特に、アスリートの生活習慣やトレーニング方法に関する報道が増加している。また、アスリートの生活習慣やトレーニング方法に関する報道も増加している。

3. 反対の声もあるが、選択肢の一つとして認識されている

「アスリート」が各メディアのトップページに目立つようになり、政府の政策発表や企業動向に連動して報道が増加している。特に、政府の政策発表や企業動向に連動して報道が増加している。また、企業動向についても、脱炭素関連の企業は積極的に報道されている。